

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に 基づく令和6年度の実施状況について

概要

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づき、
デジタル統括本部の2024（令和6）年度施策の実施状況等について報告
します。

目次

1 指標の進捗状況（基本方針6）

1-(1) 指標の進捗状況

- ・ 2023(令和5)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比45.0%減の0.012万トン
- ・ 2024(令和6)年度のエネルギー消費量は、2013年度比50.0%減の1.9TJ

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況>

上段：実績、下段：削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO ₂]	0.021	0.014	0.012	0.012 (▲45.0%)	—
エネルギー消費量[TJ]	3.9	3.0	2.7	2.3	1.9 (▲50.0%)

1-(2) 指標の進捗状況

- ・ 民間施設を賃借しており、LED等高効率照明及び太陽光発電設備の導入対象となる施設なし
- ・ 一般公用車の所有なし

<対策の取組状況>

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
LED等高効率照明の導入	—	—	—	—
太陽光発電設備の導入	—	—	—	—
一般公用車における次世代自動車等導入	—	—	—	—

<職員の取組>

会議等において資料を電子データで共有するなど、ペーパーレス化を推進しました。

また、グリーン購入を推進したほか、全職員を対象とした環境研修を受講し、温暖化対策の取組に対する理解促進を図りました。

さらに、WEB会議の活用を通じて業務の効率化を推進するとともに、超過勤務の縮減に努めるなど、温室効果ガス排出削減にもつながる取組を推進しました。